

Investment Commentary

(米国市場に関するコメント)

March 15, 2010

ご参考資料

株式市場は先週も小幅に上昇し、ダウ工業30種は0.6%上昇の10,625ドル、S&P500指数は1.0%上昇の1,150ポイント、ナスダック総合株価指数は1.8%上昇の2,368ポイントでそれぞれ引けました。先週の続伸により、株式の上昇は過去5週間の内で4週目を記録し、1月中旬から2月中旬にかけての調整幅のほぼすべてを取り戻しました。

先週の上昇は、予想を上回る幾つかの経済指標によるものと考えられます。先週金曜日に発表された2月の米小売売上高は0.3%増(除自動車で0.8%増)となり、消費については、厳しい寒波で悲観されていたほど大きな影響を及ぼさなかったことが示されました。我々の予想では、実質的な個人消費支出は第1四半期には3%以上改善する可能性もあると思われます。先週のその他の好材料としては、法人税収の増加を主因として、2月の税収が2008年4月以来初めて前年比で増加しました。

我々はこれまで、経済の回復基調は緩やかなものとなると予想してきました。しかし、そのようなシナリオは、循環的な強気相場が終わることはないという意味していると考えています。先週のデータが示すように、経済においてポジティブ・サプライズの余地はまだあるようです。同様に、企業収益が今後数ヶ月、数四半期に亘って上向く可能性もあると考えます。市場の主なりスクは、景気回復が自律的なものとならない可能性があるということです。もちろん、重要なカギを握るのは雇用情勢と考えられます。月次の雇用が今なお失われていることを鑑みると、景気動向に対する悲観論や不信感が根強く残るのも当然と言えます。雇用の増加が伴って初めて自律回復のメカニズムが経済を牽引するという考えは正しいでしょう。企業の健全なバランスシートや利益率の改善、そして企業信頼感の上昇を前提として、我々は、企業が近い将来雇用を増やす準備を始めることを想定しています。我々は、雇用情勢の好転がはっきりし始めれば、FRBの金融政策の方向性が次の市場の話題になると予想します。

先行きについて我々は、今後も経済成長が続く可能性があり、それにより投資家の信頼感が高まると想定しています。さらにここ数週間では、企業の合併・買収の動きや、自社株買いが活発になり、株式にとっては好ましい環境が整ってきました。結論として、株式市場は不安定な期間が続くものの、循環的な強気相場はさらに継続するという我々の見通しに変更がないことを再確認したいと思います。

BLACKROCK



Bob Doll
ボブ・ドール

ボブ・ドールは、ブラックロックの副会長兼ファンダメンタル株式チーフ・ストラテジストです。ドールは、ブラックロック大型株シリーズ・ファンドのシニア・ポートフォリオマネジャーです。ドールは、2006年にブラックロックとメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズが統合する前は、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズの社長兼最高運用責任者でした。ブラックロック・グループの2009年12月末時点の運用資産残高は3.35兆ドルです。

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。当資料は、ブラックロック Inc. が作成した資料をブラックロック・ジャパン株式会社が翻訳したものです。

S&P500はThe McGraw-Hill Companies, Inc.の登録商標です。

NASDAQはNASDAQ Stock Market, Incの登録商標です。

ウェブサイト www.blackrock.co.jp